

議会がチェック！

予算は適正に使われたか

令和3年度 決算を認定



決算審査は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのか、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証し、詳しく審査するため、分科会（各常任委員会）で審査に当たりました。

**決算審査
特別
委員会**

令和3年度一般会計決算状況

歳入総額 467億1267万円 前年度比-6.1%

歳出総額 443億1885万円 前年度比-6.8%

差引額 23億9382万円

翌年度事業繰越額 10億7144万円

実質収支額 13億2238万円

(決算状況及び記事の金額は千円以下切り捨て)

一般会計決算の状況

令和3年度の歳入は、467億1267万円、歳出は443億1885万円であり、前年度と比べて減っています。

主な要因は

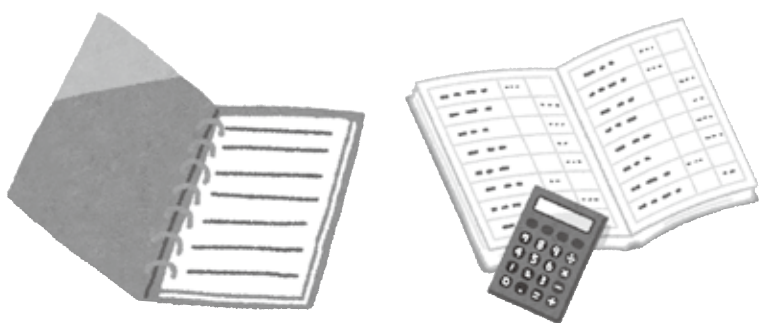
歳入歳出額減少の主な理由は、特別定額給付金事業費が終了したことによるものです。

歳入面は、主に地方交付税、県支出金、ふるさと支援寄付金（ふるさと納税）等が前年度より増えています。全体としては6.1%減少しました。

歳出面は、主に子育て世帯への臨時特別給付金や健康増進施設整備事業費、令和2年度・令和3年度の豪雨災害による災害復旧工事費等が前年度より増えています。全体としては6.8%減少しました。

黒字決算で6億7000万円を基金に

歳入歳出差引額から令和4年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支額は13億2238万円の黒字となり、この中から、6億7000万円が基金に積み立てられています。



決算審査特別委員会 審査の流れ

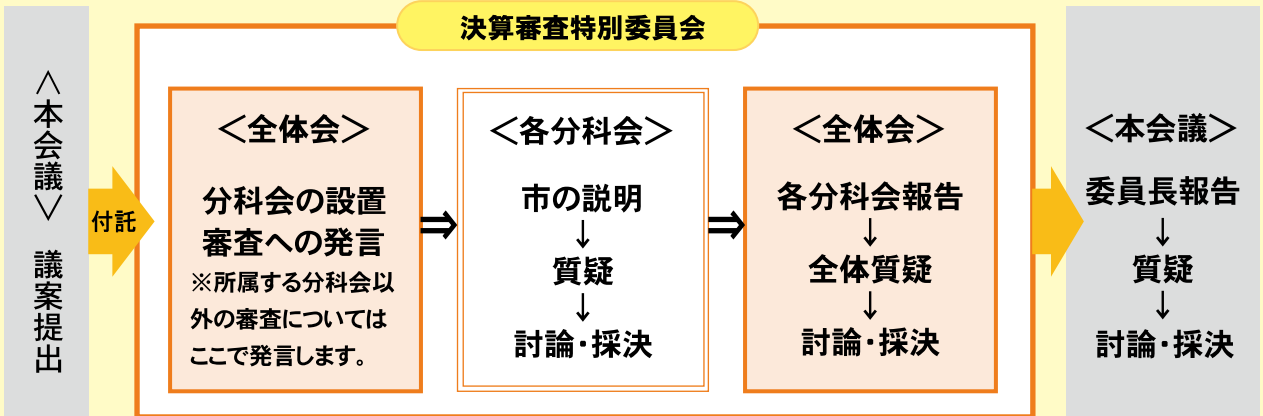
定例会

委員会審査

一般質問

活動報告

採決結果



※総務文教・厚生・建設経済分科会に分かれて審査します。

経常収支比率

89.9%

経常収支比率

財政の弾力性を示す指標で、比率が高くなれば市の独自事業の抑制等が懸念される。

借入金の返済の負担の大きさを表す実質公債費比率（3カ年平均値）は9.1%で、前年度（8.9%）より0.2ポイント増加していますが、早期健全化基準の25.0%を大きく下回っています。

財政健全化法に基づく結果は良好

財政指標でみると、人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は89.9%（令和2年度94.6%）となり減少しました。

実質公債費比率

9.1%

実質公債費比率：借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもので、25%以上であると、一般単独事業の許可が制限されることがある。

財政力指数：市の財政的な体力を表すもので、指数が高いほど財政に余裕がある。この指数が1を超えると、財政が豊かな団体とされ、地方交付税が交付されない。

将来負担比率：将来の財政を圧迫する可能性を示すもの。八女市は将来負担額を充当可能財源等が上回るため算出されない。

財政力指数

0.39

将来負担比率

—

今後とも厳しい財政事情が見込まれるなか、継続して維持する努力が望まれています。このほかの財政健全化法に基づく指標からも市の財政は良好な状況と認められています。

本会議

「決算認定」討論

反対討論（要旨）

預貯金の差押えがされているが、払いたくても払えない人がいる。差押えは悪質滞納者に限定すべきである。

一般会計及び6つの特別会計の総括決算が黒字であったことは収支バラツキがとれた決算であったと評価している。

賛成討論（要旨）

住宅新築資金等貸付金は、行政が金融機関のよくなことを行っており、返済がされなかった場合は税金で対応されることになる。

実質公債費比率が9.1%と前年度から悪化したものの、経常収支比率は前年度から4.7ポイント改善したことは財政上意義ある数値と考える。

同和関係事業に多額な支出があるが、必要な施策は一般対策で行うべきである。

しかし、今後はさらに厳しい財政状況が予想されるため、更なる財政健全化に取り組んでいただきたい。

（森 茂生）

（高橋信広）

討論とは？

議員が採決の前に賛成又は反対の立場に立って演説をすることです。議員の意見を表明することに加え、意見の異なる相手に自分の意見に同調してもらうよう働きかけることができます。

大雨災害からの復旧



予算の主な事業

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

4億1090万円

物価高騰による負担等を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（令和4年度の住民税非課税世帯等）に対して、1世帯あたり5万円を給付します。

大雨災害復旧事業

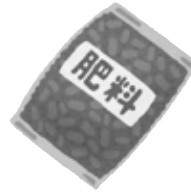
2億5490万円

令和4年7月・8月の大雨による災害からの復旧を図ります。

肥料高騰緊急対策事業

1億550万円

肥料費等の高騰による農業経営への影響を軽減するために、肥料価格高騰分の一部を支援します。



貨物運送事業者燃料費高騰対策支援金交付事業

4566万円

コロナ禍における人流抑制に加えて、燃料費高騰に直面している市内貨物運送事業者に対し保有する車両に応じて支援金を交付し、市内物流機能の安定的な確保を図ります。

見崎校区小中学校校舎等整備事業（設計業務委託料等）

3354万円

見崎中学校を義務教育学校として開校するため、不足する教室等の増築や既存校舎を改修し整備します。



一般会計に、14億267万円を追加する補正予算は原案のとおり可決されました。補正予算には、物価高騰による家計への影響が大きい低所得世帯を支援する事業や、見崎中学校を義務教育学校として整備する事業、公共交通機関が行う交通系ICカードシステム導入支援事業などが盛り込まれました。

定例会

委員会審査

一般質問

活動報告

採決結果

〈人事案件〉

公平委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

大津山 篤

人権擁護委員候補者

次の方を適任と認めました。

荒尾 好守

牛島 真奈美

草場 せつ子

平島 豊彦

大坪 和子

小井手 典子

石橋 智子

物価高騰対策や



一般会計補正

物価高騰対策農業経営継続支援事業

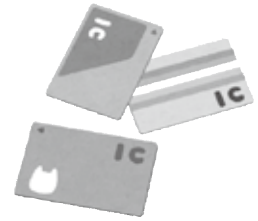
2731万円

物価高騰の影響や自然災害などによる農業収入減少に備えるため、農業経営収入保険加入に要する費用負担の軽減を図ります。

路線バス交通系ICカードシステム導入支援事業

1873万円

公共交通機関が行う交通系ICカードシステムの導入に対して支援を行い、新型コロナウイルス感染症に伴う感染症防止対策及びコロナ禍における人流確保を図ります。



飼料高騰緊急対策事業

1583万円

飼料価格が高騰している状況を踏まえ、飼料コストの上昇分の一部を支援します。

保育所等給食支援事業

657万円

私立保育所等の給食に係る材料費高騰分を補助することで、これまで通りの給食の実施や保護者負担の軽減を図ります。



高齢者福祉施設等燃料費高騰対策支援事業

422万円

燃料費高騰下においても、高齢者施設の安定的なサービス提供を支援するため、高齢者福祉施設等に対して支援します。

〈 請 願 〉

八女市立小・中学生の健全な成長、発達のための教育活動を求める請願

請願者：西方美智

ほか9人

紹介議員：牛島孝之

【請願の要旨】

常時マスクを着用する際の感染予防の効果と、児童・生徒の健全な成長、発達等に悪影響を与えるリスクの両面について周知すること。

マスクを着用できない児童・生徒及びその保護者の意志を尊重すること。

【結果】

より深く調査・研究をするため、委員会・本会議ともに、継続審議となりました。